

## 研究室訪問 意見交換会① (環境科学部)

5月2日(水) 平和班・水班の代表生徒8名が長崎大学環境科学部を訪問し、井口恵一朗教授と飯間雅文准教授との意見交換会を行いました。主に東南アジアの水事情、水環境や水質の研究について、生徒達からの質問に回答していただきました。質疑応答を通して、様々なヒントをいただきました。



参加した生徒は「現地の飲み物や土地利用の現状などをたくさん聞くことができた」「現地の寄生虫などの衛生のことなども知ることができた」「水による健康被害にも様々な種類があることがわかった」「発展途上国の環境問題が起こっている背景や解決が困難な理由がわかった」と感想を述べており、今後の研究につながる充実した訪問ができたようです。

## 研究室訪問 意見交換会② (核兵器廃絶センター)

5月8日(火) 平和班の代表生徒8名が長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)を訪問し、広瀬訓副センター長との意見交換会を行いました。まず、現在の核廃絶に関する取り組みや世界情勢についてのお話をいただき、その後質疑応答を通して助言をいただきました。初めて知る事柄も多く、参加した生徒は、改めて被爆地長崎の学生としての核廃絶に向けた行動を起こす義務感を強く感じたようです。「核には立場によって様々な捉え方があるとわかりました」「解決するためには理性や感性で感情に訴えるという言葉聞きこれは核の悲惨さを知る長崎だからこそ1番できることではないかと思いました」「核兵器の問題を扱う前に事前知識が全然足りないことがわかった」「核廃絶と言っても実際にどういう手段を用いるのか何をもって誰が確認して核廃絶というのか、国家機密という問題もあり、改めて事の重大さを感じました」と感想を述べていました。

